

令和元年度
第2回 新潟市北区郷土博物館協議会



(撮影:中澤和広 スタジオユー)

令和2年3月31日
新潟市北区郷土博物館

目 次

○令和元年度 後期事業報告（令和元. 10/15～令和2. 3/31）	
1 開館50周年記念誌の発行	2
2 常設展示	2
3 企画展等	3
4 博物館まつり	5
5 教育普及活動（講座・教室・講演会・講師派遣等）	6
6 ふるさと学習への対応	6
(1) 学校教育の場としての利用	
(2) 市民ガイドの活動と研修	
7 特色ある区づくり事業（郷土芸能伝承支援事業）	9
8 調査・研究、レファレンス等	9
9 資料（指定文化財を含む）の保管・整理	9
10 所蔵資料の貸出と写真等使用の許可	10
11 文化財等（指定文化財ほか）の公開活用・保護事業	10
○令和元年度入館状況、月別入館者数調べ（本館のみ）	11
○令和2年度 事業計画	13

注：この資料で「入館者数」とあるのは、その期間中の入館者数です。特定の企画展関連事業等に
参加した人数は「参加者」として記載しました。

新潟市北区郷土博物館 令和元年度後期事業報告

(令和元. 10/15～令和2. 3/31)

1 開館50周年記念誌の発行

「開館50周年記念誌 新潟市北区郷土博物館年報・紀要 2009. 4～2019. 3」
を作成した。

- ・発行日 令和2年3月31日
- ・発行部数 400部
- ・規格 A4 128頁
- ・非売品
- ・配布先 当館関係者、本誌作成協力者、
新潟市内外の主な博物館・美術館・図書館、
大学等の研究機関・大学図書館、国会図書館、文化行政機関、
紀要編論文関係研究者、新潟市北区の関係者、北区の学校
その他
- ・内容
 - 事業報告 (2009. 4～2019. 3)
 - 資料編 要覧 (2019. 3)
 - 紀要編 研究論文と事業報告 (2020. 3)
 - 「新潟市北区郷土博物館所蔵文書の整理状況と課題」 /杉本 耕一
新潟市北区の戊辰
 - 「新しい時代を求め行動した草莽の人、北辰隊長 遠藤七郎
—新たに確認された史料の紹介と今後の課題—」 /曾部 珠世
 - 「西郷隆盛 新潟松浜滞陣の謎」について /小島 勝治
 - 「新潟市北区郷土博物館による郷土芸能伝承支援の取り組みについて」
/木村 隆行・齋藤 加奈
 - 「弦巻松蔭 その模索と創作の軌跡—師上田桑鳩の芸術思想から考察する—」
/神田 直子

2 常設展示

「阿賀北の大地と人々の暮らし」(考古・歴史・民俗・芸術(書))

3 企画展等

(1) 「みると使う アートと道具のはざま展」

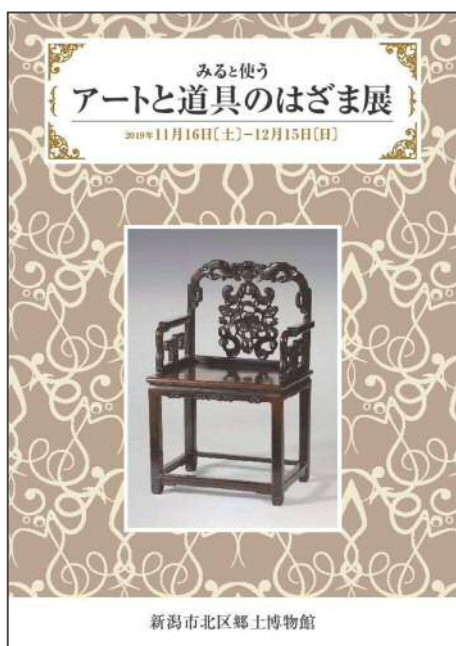
生活のなかで使われた「道具」の美、「実用」における工芸美を再認識するとともに、「みる」ことに特化した「アート」のありようをみつめる企画展。

日常を超えた「アート」の世界に触れていただくことを主眼とし、民具や工芸品などの《道具》と道具の外観を呈する《アート》、そのはざまに成立する《用と美の造形》という三部構成を試みた。

- ・会期 11/16～12/15
- ・入館者数 642人
- ・会場 ホール
- ・出品作品と点数 28点 (立体造形10点 版画2点 看板1点 衝立1点 屏風1点 陶磁1点 中国文房具6点 中国家具1点 染織1点 工業製品1点 民具3点)
※太字は当館所蔵資料
- ・出品作家 池田純夫、猪爪彦一、上田桑鳩、帰山雲涯、鈴木香雲、弦巻松蔭、羽田信彌、深井隆、古川敏郎、村穂久美雄、程君房
- ・リーフレット A4、8頁、カラー

○作品鑑賞会

- 開催日 11/17 参加者数 11人
- 開催日 12/8 参加者数 3人
- 講師 神田直子



リーフレット



作品鑑賞会



展示会場

(2) 常設展拡大企画「昭和の暮らし展 - 「住まい」の道具イロイロ」

約50～70年前まで使われた道具から、昔の生活、人々の知恵を紹介する企画の第4回展。囲炉裏回りや水回りなど、「住まい」に関わる道具を展示し、現代との違いや工夫を紹介した。

- ・会期 R2. 1/4 ~ 5/17 (予定)
- ・入館者数 1,715人 (R2. 3/31 現在)
- ・会場 ホール (手織り体験・実演は集会室)
- ・展示点数 84点 (民俗資料56点 (参考資料2点含む) 写真22点 イラスト6点)
- ・リーフレット A4、4頁、モノクロ

○手織り体験と葛塚縞手織り機の実演

開催日 1/11・18・25、2/8・22

(当初予定していた3/14・28は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

講師 葛塚縞手織りの会

○ふろしきで包んでみよう

開催日 会期中随時

○昔のおもちゃで遊ぼう

開催日 会期中随時 (3月から中止)

○天びん棒を担いでみよう

開催日 会期中随時



ポスター・チラシ



小学3年生 ふろさと学習



展示会場

4 博物館まつり（第29回 博物館まつり）

見る・聞く・触れるなど様々な体験を通して郷土の伝統文化、歴史、芸術への興味と理解を深める。

- ・開催日 11/2 ～ 11/4
- ・参加者 延べ1,020人（3・4日のみ）
- ・催し物内容
 - ・チャリティー骨董市（11/2～11/4）（主催 チャリティー骨とう市実行委員会）
 - ・豊栄高校書道部 書道パフォーマンス（新潟県立豊栄高等学校書道部）（11/3）
 - ・郷土芸能発表会（11/3・4）（出演順）
 - 11/3 長場神楽保存会、木崎三柱会、豊栄郷土民謡保存会、
内沼獅子舞保存会、正尺神楽保存会、松浜盆踊り太鼓保存会、
長戸呂平成会 神楽、他門神楽保存会、新崎甚句保存会、
高森神楽保存会
 - 11/4 松浜太鼓保存会、御山伊佐弥神楽保存会、内島見神楽保存会、
新崎樽ばやし連、竹の通り神楽連、新崎伊佐弥神楽保存会
 - ・実演・体験・チャレンジコーナー（11/3・4）
（葛塚縞手織りの実演と体験（葛塚縞手織りの会）、消しゴムハンコ作り、
ワラなべしき作り）
 - ・横笛と太鼓で祭りばやし体験（11/4）
 - ・神楽のお頭をかぶってみよう（11/4）
 - ・お楽しみ抽選会（11/3・4）

〈協力〉伊藤裕美子、大月優子、倉島百合子、齋藤早苗、佐藤フミ子、成澤清子、
藤田久美子、吉井雅枝、涌井修司、
新潟医療福祉大学生（上條夏綺、山住優菜、五十嵐凜、石塚菜々恵、金子美咲）、
新潟県立豊栄高等学校書道部（関川正枝（書道部顧問）、大橋朝陽、小林優花、
酒井愛果、椎谷笑香、芹野しおり）
郷土芸能保存団体16団体、葛塚縞手織りの会（敬称略）



豊栄高校書道部 書道パフォーマンス



郷土芸能発表会（内沼の獅子舞）



消しゴムハンコ作り体験



横笛と太鼓で祭りばやし体験

5 教育普及活動（講座・教室・講演会・講師派遣等）

(1) 講師派遣

① 講座「現代美術入門—道具と芸術（アート）はどこが違うのか—」

- ・開催日 11/9
- ・主催 とよさか中高年教養大学
- ・講師 神田直子
- ・参加者 40人
- ・会場 新潟市葛塚コミュニティセンター

② 講座「昔の冬の暮らし」

- ・開催日 R2. 1/9
- ・事業名 ご近所だんぎ
- ・主催 新潟市豊栄地区公民館
- ・講師 曾部珠世
- ・参加者 30人
- ・会場 新潟市豊栄地区公民館

6 ふるさと学習への対応

(1) 学校教育の場としての利用

小学3年生の「昔の道具と暮らし」、小学4年生の「福島潟の干拓の歴史」など、学校教育の一環としての博物館利用に対応している。

平成27（2015）年度からは「阿賀北の大地と人々の暮らし」をテーマとした常設展示室を中心に、さらに、平成28（2016）年度からは企画展「昭和の暮らし展」も含めた学習の場を、市民ガイドと協力しながら提供している。

月 日	団体名と人数 (児童+引率)	場所	講師・担当
11/20 22 27	新潟市立葛塚東小学校4年生 計119人 (福島潟の干拓の歴史) 28人 (1日2クラス) 62人 29人	常設展示室	曾部珠世 (3日間とも)
11/26	新潟市立早通南小学校3年生 110人 「昔のくらし・昔のあそび」 (新潟市文化財センター主催)	早通南 小学校	木村隆行、齋藤加奈
12/18	新潟市立岡方第二小学校3年生 16人 (昔の農業について)	常設展示室	曾部珠世、齋藤加奈 市民ガイド2人
R2. 1/16 1/22	新潟市立木崎小学校3年生 計63人 (昔の道具とくらし) 31人 32人	常設展示室+ ホール「昭和の くらし展「住 まい」の道具 イロイロ」	(両日とも) 曾部珠世、齋藤加奈 市民ガイド3人
1/16	新潟市立岡方第二小学校3年生 14人 (昔の道具とくらし)	ホール「昭和の くらし展」	曾部珠世、齋藤加奈 市民ガイド2人
1/17 21	新潟市葛塚小学校3年生 計121人 (昔の道具とくらし) (1日2クラス) 62人 (1日2クラス) 59人	常設展示室+ ホール「昭和の くらし展」	(両日とも) 曾部珠世、齋藤加奈 市民ガイド3人
2/12 14	新潟市立葛塚小学校4年生 計100人 「福島潟の干拓の歴史」 質問インタビュー・道具調査等) (2クラス合同) 60人 (2クラス合同) 40人	常設展示室	曾部珠世
2/19 26 28	新潟市立葛塚東小学校3年生 計120人 (昔の道具とくらし) (1日2クラス) 60人 30人 30人	ホール「昭和の くらし展」	齋藤加奈、市民ガイ ド2人 曾部珠世、齋藤加 奈、市民ガイド1人 齋藤加奈、市民ガイ ド2人



小学3年生
常設展示室で昔の農業やくらしを学ぶ
※昭和のくらし展見学の様子はp.4参照



小学3年生「昔のくらし・昔の遊び」出前授業



小学4年生「福島潟の干拓の歴史」

(2) 市民ガイド（常設展示ボランティアガイド）の活動と研修

個人や団体の見学者に対し、常設展示を中心としたガイドを行った。また、ガイド等のスキルアップや情報の共有を図るため、研修を行った。

① 活動実績（10/15～R2. 3/31）※学校対応を除く

- ・一般団体見学対応 1回
（あがのがわ環境学舎 阿賀流域再発見ツアー）、見学者 70人、市民ガイド2人
- ・個人見学者への対応（博物館まつりの時ほか）2回、
見学者 44人、市民ガイド延べ2人



市民ガイドによる
一般団体見学対応

② 市民ガイド研修

○館外研修

新潟県立文書館主催 特別企画展「江戸時代の庄屋さまは超多忙！？～越後・佐渡の村役人の世界～」の見学と、解説講座（講師：横田亮氏（同館主任文書研究員））の聴講をした。（担当：木村隆行・曾部珠世）

- ・開催日 11/6
- ・研修場所 新潟県立文書館
- ・参加者 市民ガイド3人（ほかに、北区古文書解読研修会より3人）

○館内研修（ガイド実践研修）

小学校のふるさと学習（詳細は、p. 6～7（1）参照）に対応するための、「予習・実践・振り返り」等の実践的な一連の研修

- ・開催日 12/17・18、 R2. 1/10・11・16・17・21・22、 2/19・26・28 ※太字は予習
- ・講師 曾部珠世
- ・参加者 市民ガイド 延べ15人

7 特色ある区づくり事業 郷土芸能伝承支援事業 平成 29 年度～令和元年度

令和元年度(3ヵ年事業の最終年度)の事業 ※平成 29・30 年度は『50 周年記念誌』 p. 43 参照

(1) 郷土芸能伝承支援のために過去に撮影した映像のデジタル編集と DVD の制作

平成 29 年度には、平成 14 年以前に撮影し、VHSテープに保存していた指定文化財等の神楽・獅子舞・盆踊りの映像をデジタル化した。平成 30 年度には、平成 21 年撮影の新崎伊佐弥神楽等の映像をデジタル化した。令和元年度は、北区で神楽等を奉納する秋まつりを映像に記録した。これらデジタル化した映像に編集を加え、DVDに記録した。今後配付予定。

- ・配付用のDVD制作 25 件
- ・制作枚数 125 枚 (25 件×各 5 枚)
- ・配付先 (予定) 豊栄図書館、地域の小中学校、保存団体、当館貸出用

(2) 郷土芸能伝承支援事業報告の作成

『開館 50 周年記念誌 新潟市北区郷土博物館年報・紀要 2009. 4-2019. 3』の「紀要編 研究論文と事業報告」等において、平成 29 (2017) 年度～令和元 (2019) 年度の 3 ヵ年の事業報告を作成した。

8 調査・研究、レファレンス等

(1) 他機関・他施設の事業等への協力

(2) 刊行物の販売

当館の有償刊行物のリストを、表紙イメージ入りでホームページに掲載(通年)。

(3) レファレンス等

- ① 市民の郷土史学習サポート・資料調査協力、郷土史関連図書の閲覧等への対応
- ② 他の博物館や大学など研究機関への協力

9 資料(指定文化財を含む)の保管・整理

(1) くん蒸処理の記録

- ・収蔵資料くん蒸処理 10/21～10/25
平成 30(2018)年度「昭和のくらし展」で展示した民俗資料、新収蔵資料等をくん蒸し、郷土資料収蔵庫に収蔵した。
- ・防虫防菌処理 郷土資料収蔵庫 10/23

10 所蔵資料の貸出と写真等使用の許可

許可日	資料名	目的	貸出・許可先
11/2	長沢明「鳥に舟」	企画展「長沢明展 オワリノナイフーケイ」への出品（展示は新潟市美術館のみ）。 図録への図版掲載	横須賀美術館 (会期 R2. 2/8~4/12) 新潟市美術館 (会期 4/25~6/7)
12/5	「1919（大正8）年の葛塚市」 「1955（昭和30）年頃の葛塚市」 「1967（昭和42）年2月の葛塚市」 「1993（平成5）年12月の葛塚市」 ※4点全て写真	制作番組内での使用。 UX新潟テレビ21「まるどりっ！サプリ」	UXビジョン
R2. 1/9	「オウギアミを使った追い込み漁（タンカラボイ）（豊栄町撮影）」の写真	『民具学事典（日本民具学会編）』への掲載	丸善出版株式会社
1/28	オオヒシクイの剥製	水の駅「ビュー福島潟」での展示	水の駅「ビュー福島潟」 （展示 1/28~3/31）
3/27	森下古銭出土地 古瀬戸 [瓶子] 森下古銭出土地 銭貨94枚 華報寺墓跡 珠洲焼 [壺] 伝佐渡沖海底 珠洲焼 [壺]（畠山佑二コレクション）	新潟市文化財センターでの展示	新潟市文化財センター （平成23年度から継続）

11 文化財等（指定文化財ほか）の公開活用・保護事業

（1）郷土芸能の公開

博物館まつり「郷土芸能発表会」（再掲）

・開催日 11/3・11/4

・出演団体（16団体、出演順）

11/3 長場神楽保存会、木崎三柱会、豊栄郷土民謡保存会、内沼獅子舞保存会、正尺神楽保存会、松浜盆踊り太鼓保存会、長戸呂平成会 神楽、他門神楽保存会、新崎甚句保存会、高森神楽保存会

11/4 松浜太鼓保存会、御山伊佐弥神楽保存会、内島見神楽保存会、新崎樽ばやし連、竹の通り神楽連、新崎伊佐弥神楽保存会

○ 令和元年度入館状況

月別	北区郷土博物館 入館者数(人)	横井の丘ふるさと 資料館入館者数 (人)	主 な 行 事
4月	698		昭和のくらし展－「着る」にまつわる道具たち－ (1/4～5/19)
5月	527		昭和のくらし展－「着る」にまつわる道具たち－ (1/4～5/19) 2,692人
6月	589		所蔵作品公開「人間はどこにいる？」 (6/1～7/15)
7月	606		所蔵作品公開「人間はどこにいる？」 (6/1～7/15) 839人 第22回松蔭賞書道展 (7/27～8/25)
8月	1,003		第22回松蔭賞書道展 (7/27～8/25) 1,133人 夏休み はくぶつかん体験コーナー (7/28～8/18) 延べ942人
9月	1,048		第13回北区こども科学展 (9/21～10/14)
10月	798		第13回北区こども科学展 (9/21～10/14) 1,319人
11月	1,557		第29回博物館まつり (11/3・4) 延べ1,020人 アートと道具のはざま展 (11/16～12/15)
12月	354		アートと道具のはざま展 (11/16～12/15) 642人
1月	671		昭和のくらし展－「住まい」の道具イロイロー (1/4～5/17)
2月	738		昭和のくらし展－「住まい」の道具イロイロー (1/4～5/17)
3月	306		昭和のくらし展－「住まい」の道具イロイロー (1/4～5/17) 1,715人 (R2. 3/31 現在)
合計	8,895		

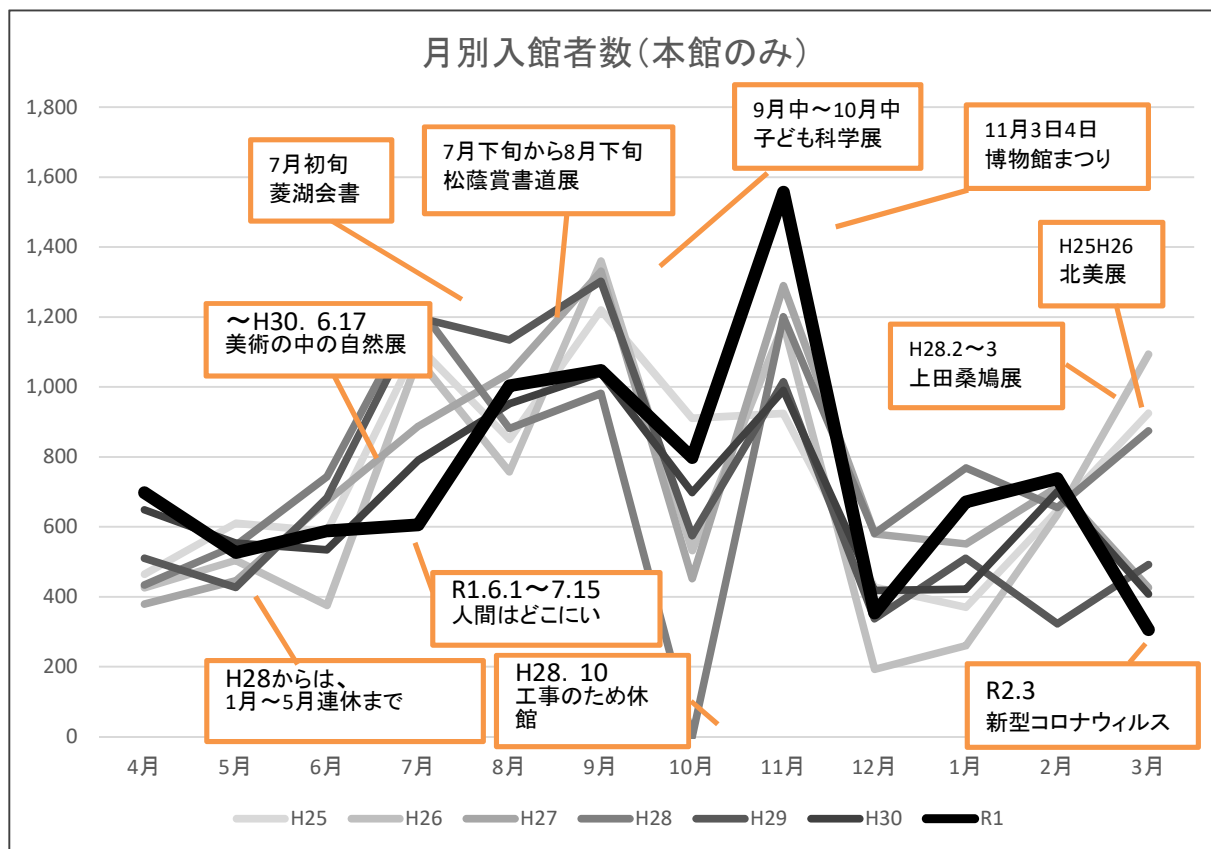
- ・「入館者数」は館内に入場した人数であり、展覧会観覧者数や事業参加者数の合計とは異なります。
- ・横井の丘ふるさと資料館は現在休館中。

- ・館外事業参加者数 合計173人
 - ・出前事業 (北区内小学校) 7/4 (木崎小・笹山小、72人)、11/26 (早通南小、101人)

月別入館者数調べ(本館のみ)

(人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	四半期 R1/H30
4月	464	426	379	434	510	649	698	104.4%
5月	610	504	446	547	427	554	527	
6月	587	376	674	743	683	535	589	
7月	1,117	1,081	888	1,231	1,198	790	606	95.5%
8月	850	757	1,039	882	1,135	952	1,003	
9月	1,220	1,360	1,331	982	1,302	1,040	1,048	
10月	910	532	452	0	575	698	798	128.6%
11月	924	1,181	1,289	1,201	1,015	990	1,557	
12月	428	193	580	582	337	418	354	
1月	370	260	551	769	510	422	671	112.0%
2月	647	635	714	656	323	701	738	
3月	925	1,094	426	875	492	408	306	
合計	9,052	8,399	8,769	8,902	8,507	8,157	8,895	



新潟市北区郷土博物館 令和2年度事業予定

1 常設展示

「阿賀北の大地と人々の暮らし」（考古・歴史・民俗・芸術（書））

2 企画展等

（1）常設展拡大企画「昭和の暮らし展－「住まい」の道具イロイロー」（前年度から継続）

・会期 R2. 1/4～5/17

・会場 ホール（手織り実演・体験は集会室）

○手織り体験と葛塚縞手織り機の実演 4/11・25、5/9 各日とも午後2～4時
（4/11・25は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止を決定）

○展示の説明 4/11・25 両日とも午後1時30分～午後2時
講師 曾部珠世

（2）－写真と映像、そして本物で見る－ 北区の神楽と獅子舞のここに注目展

当館では、平成29（2017）年度から令和元（2019）年度にかけて、『特色ある区づくり事業（郷土芸能伝承事業）』として、北区の郷土芸能に対する伝承支援の取り組みを行ってきた。

本展では、3ヵ年の中で撮影した神楽や獅子舞の写真・映像、VHSテープをデジタル化し編集した映像、実物のお頭の展示や調査報告などを通して、地域の人々によって受け継がれてきた北区の神楽・獅子舞を紹介する。

・会期 6/6～7/5

・会場 ホール

○兄弟お頭の対面と郷土芸能発表会

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止を決定）

村上市上町の呉服店保管のお頭、江南区沢海の神楽のお頭、北区長場のお頭、嘉山の先代のお頭、この4つの神楽のお頭が、村上の宮大工「長作」が彫ったものであると判明した。

130年振りにこれら兄弟お頭を集めた対面式と、長場の神楽など北区の神楽舞の公演を行う。

・開催日 6/14

・出演団体 長場神楽保存会、その他

（3）第23回 松蔭賞書道展

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなんで開催される競書大会。書に親しむ機会づくりの一環として市内の児童・生徒から課題作品を公募して開催する。入賞作品238点を展示。

・会期 7/23～8/30

・会場 ホール、集会室

・応募対象 新潟市内の小学3年生～中学3年生

(4) 第14回 新潟市北区こども科学展

新潟市北区の小中学校児童・生徒が、夏休みに取り組んだ創意工夫、探究心にあふれる作品を発表・展示。

- ・会期 9/19～10/11
- ・会場 ホール

(5) 美術にみる 型とシンボル展 —図像の伝統と現代—

長沢明、北條佐江子、ワタナベメイなど新潟出身の気鋭の作家たちの作品を借用して公開。現代美術における図像の記号的な表現を、当館が所蔵する日本の伝統的な「虎図」、「鶴図」、「達磨図」などと対照しつつ、現代の美術表現に親しむ機会とします。

- ・会期 11/14～12/13
- ・会場 ホール・集会室
- ・出品作家 (予定) ※太字は、当館所蔵作品を出品
絵画 長沢明、北條佐江子、ワタナベメイ
彫刻 高橋清
書画 味方海山、森華江、鈴木香雲

○作品鑑賞会 11月と12月中の各1回

(6) 常設展拡大企画「昭和の暮らし展5」

今では使われなくなった道具から、北区の昔の暮らしの様子や、人々の知恵や工夫を紹介する企画の第5回展。体験コーナーを設置 (予定)。

- ・会期 R3. 1/5 ~ 5/16
- ・会場 ホール

○展示の説明

○手織り体験と葛塚縞手織り機の実演 (講師 葛塚縞手織りの会) (予定)

3 博物館まつり (第30回 博物館まつり)

見る・聞く・触れるなど様々な体験を通して郷土の伝統文化等への興味と理解を深める。郷土芸能発表会などを予定。

- ・開催日 11/3
- ・会場 北区郷土博物館

4 教育普及活動 (講座・教室・講演会・講師派遣等)

(1) はくぶつかん体験コーナー

見学・体験しながら北区の歴史と文化を学び、理解を深める。特色ある区づくり事業「夏休み公共施設利用促進事業」に伴い開催する。

- ・期間 7月下旬～8月下旬頃 (予定)
- ・会場 北区郷土博物館
- ・協力 市民ガイド (予定)

(2) 講師派遣

① 講座「写真で見る北区の水害 7.17水害、8.28水害を中心に」(仮題)

- ・開催日 6/11
- ・事業名 ご近所だんぎ
- ・主催 新潟市豊栄地区公民館
- ・講師 曾部珠世
- ・会場 新潟市豊栄地区公民館

② 講座「現代美術への招待(2)」

- ・開催日 9/12
- ・主催 とよさか中高年教養大学
- ・講師 神田直子
- ・会場 新潟市豊栄地区公民館

③ 講座「世界の美術館ーコレクションのお話」

- ・開催日 R3. 2/13
- ・主催 とよさか中高年教養大学
- ・講師 神田直子
- ・会場 新潟市豊栄地区公民館

5 ふるさと学習

(1) 学校教育の場としての利用

学校教育の一環として、博物館資料の紹介や、展示見学の利用を図る。

(2) 一般の地域学習の場としての利用

地域と連携し、博物館資料の紹介や、展示見学の利用を図る。

(3) 市民ガイド(常設展示ボランティアガイド)の活動と研修

学校教育や一般団体による地域学習での見学時のガイドや、個人の来館者へのガイドを行う。また、ガイドのスキルアップのための研修を行い、情報共有を図る。

6 特色ある区づくり事業 木崎村小作争議100周年事業 令和2～4年度

新潟県三大小作争議の1つといわれる木崎村小作争議は、令和4(2022)年度に100周年を迎える。令和4年度に開催予定の企画展事業に向け、新たな資料(地主などの資料)の所在確認調査や、新潟市指定文化財の歴史資料の修復を行い、100周年企画展示事業に取り組む。

令和2年度(初年度)の事業

- (1) 企画展開催のための資料の調査・研究・目録作り
- (2) 木崎小作争議関係資料(市指定文化財)の修復・修繕にかかる調査

「看板（無産農民学校西入口）」（1点）の修復・修繕にかかる調査を、修復の専門機関（大学等）に委託して行う。

7 調査・研究、レファレンス等

(1) 他機関・他施設の事業等への協力

- ① 博物館学芸員課程履修の実習生受け入れ
 - ・実習期間 8/27～9/3（予定）
 - ・実習生 新潟大学人文学部より3名（予定）

(2) 刊行物の販売

当館の有償刊行物のリストを、表紙イメージ入りでホームページに掲載(通年)。

(3) レファレンス等

- ① 市民の郷土史学習サポート・資料調査協力、郷土史関連図書の閲覧
- ② 他の博物館や大学など研究機関への協力

8 資料（指定文化財を含む）の保管・整理

(1) くん蒸処理（収蔵資料等）

(2) 収蔵資料等整理（外部依頼）作業

(3) 郷土資料収蔵庫の管理運営

- ・環境整備・虫の侵入防止・空調管理
- ・民俗資料整理作業（台帳化、配架）

(4) 横井の丘ふるさと資料館の管理

- ・環境整備等

(5) 美術資料整理作業

- ・所蔵美術作品の整理作業（台帳整理等）

9 文化財等（指定文化財ほか）の公開活用・保護事業

(1) 木崎小作争議関係資料（市指定文化財）の修復・修繕にかかる調査（再掲）

(2) 文化財等説明板の設置・修繕

(3) 郷土芸能の公開

① 兄弟お頭対面と神楽公演（再掲、企画展関連イベント）

- ・開催日 6/14（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止を決定）

② 第30回 博物館まつり「郷土芸能発表会」（再掲）

- ・開催日 11/3
- ・出演団体 未定

(4) 指定天然記念物の保護・育成